



いい旅いい仲間 vol.74 2023年4月1日発行

株式会社
富士国際旅行社
FUJI INTERNATIONAL TRAVEL SERVICE
since 1964

いい旅 いい仲間 vol.74

発行：株式会社 富士国際旅行社
〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7 ヒューリックみなとみらい11F-4 ☎045-212-2101

米軍基地問題を考える 歌と平和の横浜フィールドワーク 2日間

2023年5月29日(月)～5月30日(火) 49,000円

定員：30名 最少催行：15名 添乗員：同行します
同行：伊藤千尋さん(ジャーナリスト)
大熊啓さん(シンガーソングライター)

- ◇米軍の小型揚陸部隊が配備されると発表のあった横浜港ノースドックを海の上から見学します
- ◇相模原、厚木基地周辺のフィールドワークから、米軍基地問題について学びます。
- ◇伊藤千尋さん講演会・大熊啓さんミニコンサートも開催!
- ◇どちらか1日のみのご参加も可能です! ご料金はお問い合わせください。

【旅程】

- ①ピア赤レンガ桟橋集合 クルーズ乗船(海の上から米軍基地瑞穂ふ頭を見学)、象の鼻パーク、赤い靴はいてた女の子像、世界の広場、愛の母子像、港の見える丘公園、伊藤千尋さん・大熊啓さん講演会&ミニコンサート
【横浜市内泊】
- ②バスで厚木基地へ 厚木基地周辺フィールドワーク、相模原周辺米軍施設フィールドワーク、地元の方からのお話、横浜駅着後、解散

関連記事は12ページに掲載

お申し込み方法



東京大空襲・戦災資料センターを訪れる 戦災の記憶をたどる東京フィールドワーク

2023年7月19日(水)～7月21日(金) 67,000円

定員：30名 最少催行：20名 添乗員：同行します
講師：工藤芳弘さん(東京大空襲・戦災資料センター運営委員)

- ◇東京大空襲の実相を伝えるとともに、人々の体験を語り継ぐ東京大空襲・戦災資料センターをじっくり見学します
- ◇空襲体験者や吉田裕館長(一橋大学名誉教授)からのお話をお聞きします
- ◇上野や浅草周辺の戦跡をガイドの案内とともにフィールドワーク! 実際に歩くことでより学びを深めます
- ◇最終日はオプションツアーをご案内(靖国神社フィールドワークなど)

【旅程】

- ①13:30東京大空襲・戦災資料センター集合、館内見学と館長・体験者からのお話 センター周辺戦跡フィールドワーク(東陽公園、深川親子地蔵、深川高校慰霊碑、江東区役所前母子像「希い」など)【浅草2泊】
- ②上野周辺フィールドワーク(上野公園、「母子像 時忘れじの塔」、慰霊碑「哀しみの東京大空襲」、上野駅地下道など)専用車で浅草へ
浅草周辺で自由時間・昼食(自由食)、浅草周辺の戦跡フィールドワーク、言問橋(東京大空襲戦災犠牲者追悼碑)、東京都慰霊堂
- ③自由行動 希望者はオプションツアーへご案内(靖国神社フィールドワークなど)

関連記事は12ページに掲載

いい旅いい仲間

観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員
発行：株式会社富士国際旅行社® 『富士国際』は当社の登録商標です

TEL 045-212-2101 / FAX 045-212-2201

メール：henshu@fits-tyo.com

<営業日>月曜～金曜(10:00～18:00) 土日祝休み

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7

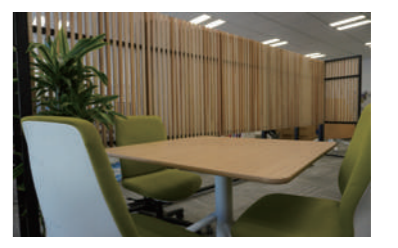
ヒューリックみなとみらい11F-4

http://www.fits-tyo.com/

富士国際旅行社 🔍 検索



facebook、twitterで
旅のお知らせ発信中!



ふるさと・与那国島を想う——宮良純一郎

東京から1900km、沖縄島的那覇から509km、台湾から111km、日本最西端の位置に私のふるさと与那国島がある。世界地図から見れば針の先ほどの島であるが、島民にとっては生活の中心となる地である。

島の成り立ちを象徴する景勝地、「ティンタ ハナタ」がある。語意から共通語を当てはめれば、ティン(天空)の(タ)家の(ハ)ナタ(端)である。この景勝地は、八重山層(泥岩・砂岩層)に琉球石灰岩層が座り、家の端(軒先)が天空に聳えるように立っている。複雑な地殻変動を繰り返すことにより出来上がった自然の造形である。観光客でも行ける天然展望台のハナタ(軒先)は標高85mもあり、眼下に町役場がある集落を一望できる。ティンタハナタを背景に、その藤道を馬(与那国馬)で野良仕事へ、そして家路へと行き来する風情が懐かしく想われる。

先月、めったに行へない屋上(軒先)標高100mに立った。台湾、中国大陸方面を廻る東シナ海の壮大さ、それを受け入れるかのようにふるさと与那国島が位置しているように思えてならなかった。太古の昔から万国津梁として近隣諸国と交易をした琉球国、その大交易時代の要所となった処が黒潮がぶつかる与那国島である。埋蔵遺跡の出土遺物からその根拠を伺い知ることができる。北から入ってきた

カムイヤキや石鍋、大陸や南から入った中国やタイの陶磁器などが出土している。又、櫛の文様の入った白磁碗や織物機の紡錘車などが見つかっており興味深い。西洋や琉球の船が水の補給を求めて与那国島に着いたと言われるゆかりの地もある。1477年、朝鮮済州島の漂流民が与那国島で手厚く保護され、島で半年ほど過ごしている。その体験記によると、稲作や織物作りなど、生活の営みが事細かに描写されている。大交易時代(12世紀~15世紀)、与那国島は、中央との服属関係にはなく、大交易の影響を受けて自立性の高い暮らしが営まれていたことが想像できる。与那国島は、東アジアの玄関口として開かれていたと解することができる。

戦前の日本統治下、与那国島の人たちは生活の糧を求めて台湾に渡った。台湾との生活の結びつきは強いものがあり、友好的でもあった。敗戦直後(1945~50年)の与那国島は台湾や近隣との交易で活気を呈した。米軍占領下とあって一般にそのことを「密貿易」と言いが、島出身の宮良作(元県会議員、1927年生)は、著書『与那国島誌—その近代を掘る—』で、「密貿易」と呼べない戦後与那国島の『自由交易』—沖縄住民の生活再建に役立つ『復興交易』だった—の見出しを立て、論じている。そんな与那国島が、「軍事要塞化」の最前線に立たされたようにしている。昨年11月、砲塔むきだしにした戦闘車が公道を走るのを目の当たりに



して、和やかな島の風景が異様に映った。「基地に合わせて島が改変されていく状況を憂う。3月16日には石垣島のミサイル基地が開設された。南西諸島の軍事要塞化は日本全土に戦火を呼び込む。それに抗う運動が全国・各地で求められる。

島には高校がない。進学のために島を出てから59年にもなり、石垣島が居住である。でも、軸足を定めることに移そうと考えている。最近、その居場所となる家(16坪)を建てた。住人は私一人。与那国島に來られる皆様、旅の途中に我が家へ立ち寄り、一休みを、そして交流に活用ください。

みやら・じゅんいちろう
八重山戦争マリアを語り継ぐ会事務局長
子どもと教科書を考える八重山地区住民の会会長

CONTENTS

いい旅いい仲間
vol.74
APRIL 2023

- 目次.....02
- ふるさと・与那国島を想う.....03
- 脱原発を目指す台湾.....04
- 伊藤さん・大熊さんと行く歌の旅シリーズ.....05
- 吉岐・対馬から釜山 国境を超える旅へ.....06
- 二つの引揚げを考える 京都舞鶴.....07
- 平和の願いを歌にのせて 沖縄.....08
- 平和ねがいて弦なりやまず ピースリー・ミュージック.....09
- 国内テーマのある旅(北海道・四国・九州).....10
- 国内テーマのある旅(島根・九州).....11
- 横浜からウクライナそして南西諸島へ/東京大空襲の実態を伝える.....12
- 国内自然の旅.....13
- ボスニアヘルツェゴビナとスポーツを通じた民族の架け橋.....14
- 絵本と演劇で紛争を止める~イラクから平和細胞を!~.....15
- 海外テーマのある旅(イタリア・ポーランド).....16
- 海外テーマのある旅(イギリス・フィンランド).....17
- 海外テーマのある旅(インド・フランス).....18
- 海外テーマのある旅(コスタリカ・カンボジア・フィリピン).....19
- 先住民と出会い学ぶ まだ知らないグアムへ.....20
- 海外テーマのある旅 韓国.....21
- 太陽と海と革命の国 キューバで笑いましょう.....22
- 海外自然の旅(スイス・ハワイ).....23
- 横浜フィールドワーク/東京大空襲フィールドワーク.....24

沖縄
4日間

石垣・与那国・宮古 3島をめぐる平和交流の旅

定員: 30名 最少催行: 15名
添乗員: 羽田から同行します

①2023年5月15日(月)~18日(木) 159,500円
 ②2023年7月23日(日)~26日(水) 179,500円
 ③2023年9月24日(日)~27日(水) 169,500円
 ④2023年12月25日(月)~28日(木) 後日発表

◇石垣・与那国・宮古島の3島を訪れ、南西諸島で進む自衛隊配備問題を考えます
 ◇それぞれの島に暮らす方々と交流し、暮らしに及ぼす影響について直接お話を伺います。
 ◇島ならではの風景・郷土料理・民謡もお楽しみください。

【旅程】
 ①羽田発 直行便または経由便で石垣島へ、石垣島内見学(八重山平和祈念館、自衛隊基地予定地、地元の方からのお話)【石垣泊】
 ②石垣 与那国、与那国島内見学と地元の方との交流【与那国泊】
 ③与那国 石垣島 宮古島、宮古島内見学【宮古島泊】
 ④伊良部島・下地島見学、下地島空港または宮古島空港発 直行便または経由便で羽田空港へ

伊藤さん・大熊さんと行く歌の旅シリーズ

長野 3日間
長野 心のふるさとを訪ねる旅

2023年
5月10日(水)～5月12日(金) 91,000円

定員：30名 最少催行：20名
添乗員：新宿から同行します

◇阿智村の満蒙開拓平和記念館、上田の無言館をじっくり見学
◇松代大本営象山地下壕と長野市安茂里の大本営海軍部壕を訪れ、戦争の歴史を学びます
◇ツアー2日目に地元合唱団と「春のうたごえ 交流会in信州上田」を開催！お楽しみに♪

【旅程】

- ①新宿発 松代大本営、長野市安茂里の大本営海軍部壕見学【昼神温泉泊】
- ②満蒙開拓平和記念館、長岳寺見学「春のうたごえ交流会in信州上田」【上田市泊】
- ③無言館、山本宣治の碑、南牧村 新宿

長崎 4日間
県北の戦争遺跡とキリシタン史跡をめぐる長崎 平和の旅

2023年7月8日(土)～7月11日(火) 157,000円

定員：30名 最少催行：15名
添乗員：羽田から同行します

◇長崎市の原爆遺構や佐世保市、大村市の戦争史跡をめぐるながら、戦争の記憶をたどります
◇佐世保の米軍基地の現状を学びます
◇戦国時代から海外貿易港として賑わった平戸市を訪れ、キリシタン史や長崎の美しい自然も満喫♪

【旅程】

- ①羽田 長崎 平和公園、原爆資料館、浦上天主堂など 地元の方との交流【長崎市泊】
- ②川棚町戦争遺構めぐり、浦頭引揚記念平和公園・資料館など 佐世保市内の米軍基地を車内から見学、伊藤千尋さん大熊啓さんイベント【佐世保泊】
- ③田平天主堂、松浦史料博物館見学、平戸ザビエル記念教会など 生月大橋を渡って生月島へ～生月町博物館「島の館」、大バエ灯台、塩俵の断崖など【平戸泊】
- ④平戸瀬戸市場、松浦鉄道たびら平戸口駅（日本最西端の駅）見学長崎空港のある大村市へ 長崎 羽田

福岡 4日間
労働歌 うたごえ交流の旅—筑豊・三池—

2023年
10月11日(水)～10月14日(土) 141,000円

定員：30名 最少催行：15名
添乗員：羽田から同行します

◇ジャーナリスト伊藤千尋さん、ミュージシャン大熊啓さん同行の歌と平和の旅♪
◇日本の労働歌を多く作曲した荒木栄が生まれた福岡筑豊を訪ねます。
◇原爆の残り火を守り続ける星野村平和の広場へ
◇どんこ舟で知られる柳川のお堀巡りもお楽しみに！

【旅程】

- ①羽田 福岡、田川市（田川市石炭・歴史博物館）【飯塚市内1泊】
- ②旧伊藤伝右衛門邸、荒木栄歌碑、三井炭鉱見学（石炭産業科学館）、うたごえ交流イベント【大牟田市1泊】
- ③柳川見学（北原白秋生家記念館 柳川お堀めぐりなど）、星野村「平和の広場」中村哲さんゆかりの山田堰【福岡市内1泊】
- ④博多戦跡めぐり 福岡 羽田

台湾 4日間
～脱原発を目指す台湾から学ぶ～市民と連帯・交流・歌の旅

2023年9月16日(土)～9月19日(火) 218,000円
※燃油等別途

定員：40名 最少催行：25名
添乗員：同行します

◇脱原発を目指す台湾！原発反対運動を行う方々の原動力となった歌「子どもの大空」を歌い、市民同士の連帯・交流します。
◇二二八事件や「慰安婦」と女性の人権に関する展示館を見学
◇風光明媚な九分の町散策や世界4大博物館のひとつ「国立故宮博物院」の見学もお楽しみ下さい

【旅程】

- ①羽田（午前）台北、台湾市内見学（台湾総統府・龍山寺）【台北3泊】
- ②午前：二二八記念館、阿嬤(アマ)の家・平和と女性人権館、午後：福島第一原発事故を受けて台湾で沸き起こった脱原発行動の中心となった組織「媽媽氣候行動聯盟（気候アクションママ連盟）」と交流&伊藤さん・大熊さん歌のイベント
- ③午前：天燈上げで人気の十分を見学、午後：ノスタルジックな九分の町散策を散策と、日本統治時代の鉱山である金瓜石を見学
- ④午前：「国立故宮博物院」をじっくり見学、午後：台北 羽田



東日本大震災の時、台湾がいち早く多額の義援金を送ってくれたことを覚えている人は多いかと思いますが、一方で台湾が、東日本大震災と福島第一原発事故に学んで、脱原発を決意したことを知っている人は、残念ながら多くはありません。

台湾には2011年当時、第一・第二・第三原発が稼働していました。それらはすべて主要都市・台北から30キロ圏内にあり、「日本で起こった原発事故は、台湾でも起こりうる。もし事故が起これば台湾は壊滅する」という声が沸き起こり、震災2年後の2013年3月には、台湾史上最大規模の、10万人が参加する脱原発デモが行われ、2014年には当時建設中だった第四原発の計画が、住民投票により中止となりました。

2016年に初の女性総統となった蔡英文氏は、東日本大震災・福島第一原発事故直後に「2025年非核家園計画（2025年非核の家計画）」を発表し、総統選挙でもこれを公約として掲げ当選しました。そして2017年、「2025年までに台湾のすべての原子炉を事実上廃炉にする」という内容を含む電気事業法改正案を可決しました。これは、アジアでも初の「脱原発法」だった。しかし、その後の道のり

は平坦ではなく、同年8月に火力発電所のミスで台湾全土の約半分の世帯に及ぶ大停電が発生したことから、電力不安の声が高まります。また、原発を止めて火力発電に頼れば大気汚染が進むという原発推進派の声に押され、2018年の住民投票では「2025年までに全原発を停止する」という条項の削除が賛成多数となり、法的期限が撤廃されてしまいました。

「福島第一原発事故後の2013年には10万人以上が参加した脱原発集会も、近年は1万人程度、今ならばひっくり返せる」と踏んだ原発推進派が提案し、建設中止となっていた第四原発の建設再開を問う住民投票が2021年に行われました。しかし、民意は反対多数で退けました。

先日、台湾議会で、2022年の年間電力発電統計が発表され、台湾における主要5種類の再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、水力、風力、水力、地熱）による総発電量を上回る「クロスオーバー」が実現した事が報告されました。この動きをけん引してきたのが、2012年に女性たちが立ち上げた「媽媽監督核電廠聯盟（原発監視ママ連盟）」と、それに呼応して

2013年に台湾の著名ミュージシャンたちが歌った「子どもの大空」です。その顔ぶれは、当時の日本で例えるならば、安室奈美恵、嵐、SMAP、Mr.Children、DREAMS COME TRUEなどが集まって脱原発の歌を歌うようなものと言え、いかに画期的なことだったかがわかるかと思えます。この歌を日本でも広げたいと、日本語詞をつけ、2019年に私が出したCDアルバム「タイトルにも使わせていただきました」。

台湾の第一原発はすでに2018年・19年に運転を終了、第二・第三原発も2025年までに運用停止期限を迎え、そうなれば事実上の脱原発となります。その間、原発の建設再開を退け、原発に頼るのではなく、同時に脱炭素を実現するエネルギー転換を目指して、再生可能エネルギーを推進してきた台湾。原発監視ママ連盟は、原発だけでなく脱炭素、気候変動問題も同時に考えて行動すべく、2022年8月に「媽媽氣候行動聯盟（気候アクションママ連盟）」と改称し、次の目標は、石炭火力による発電量を、再生可能エネルギーで100%削減。



一方で、原発事故を起こした当事国である私たち日本はどうでしょう？運用期限が過ぎた原発を期限延長したり、「原発を動かさないから電気料が高くなる！」と、原発を再び動かすというばかり考えて、この12年間何をしてきたのでしょうか？

「中国や韓国と違って親日」と嫌中・嫌韓感情を煽る際に引き合いに出され、「その親日国が中国に攻められる、台湾有事だ」などと、日本の防衛費増額に利用される台湾。そんな浅薄な認識ではなく、私たちは台湾について知り、学ぶ必要があると感じています。

脱原発を目指す台湾

大熊 啓
おおくま・あきら(シンガーソングライター)

TAIPEI

九州北部と韓国南部は海を挟んで約200キロ。東京と大阪間の半分ほどの距離です。古来、島々を伝って人々が行き来し、「稲作」「鉄」「仏教」をはじめとする大陸の文化・文物がこの「海の道」を通じて日本へ渡ってきました。現代では福岡と釜山間が高速船で3時間40分、飛行機なら1時間足らず。日本からK-POPのコンサートへ、韓国からは日本のアニメの聖地へ、軽やかに海峡を越えていく旅人も少なくありません。

さあ、私たちも島伝いに国境を越える旅へ出かけましょう！

吉岐は、3世紀の中国の歴史書『魏志倭人伝』に登場する「大倭国（支国）」とされています。その王都に特定されたのが、弥生時代の「原の辻遺跡」。長崎県で2番目に大きな平野の一角ですが、あたりは広々として、渡来した稲作が、まずここで根付いたのもうなずけます。日本最古の船着場跡も見つかっており、現在の日本で見れば西端の小さな島が、かつては大陸との中継基地だったことがうかがえます。

対馬は、外交使節団「朝鮮通信使」にゆかりの島。朝鮮通信使は室町時代に始まり、豊臣秀吉による侵略で断絶。江戸時代に再開しましたが、途絶えた国交を回復させるため、間に立って尽力したのが対馬の人々でした。その後の約200年間に12回往来しましたが、隣り合う二つの国が、これほど長きにわたって平和な関係を築いたのは、世界史上例がないと

吉岐・対馬から釜山 国境を越える旅へ

佐々木 亮 ささき・りょう (ジャーナリスト)

も言われています。対馬藩の儒学者、雨森芳洲は外交理念として「互いに欺かず、争わず、真実をもって交わる」と説きました。対馬の歴史から学べることは今なお多岐にわたります。

ところで、島には海に囲まれ、海でつながっているゆえの悩みもあります。その一つが漂着ごみ問題。海流に乗り、国境を越えて、大量のごみが打ち寄せられています。近年は対馬の海岸清掃に韓国の大学生も駆けつけるようになりました。中国や韓国からのごみが目立ちますが、日本のごみも多く、さらには日本のごみが他国へ流れていく事例も報告されています。歴史探訪の合間に海辺に立ち、現代の地球環境問題を考えてみてはどうでしょうか。

対馬の北部からは、天気が良ければ、海に向こうに都市の街並みが見渡せま

49.5キロ先の韓国・釜山です。

釜山は日本でもヒットした「釜山港へ帰れ」で歌われた港町で、首都ソウルに次ぐ韓国第2の都市。日韓交流史の上でも重要な舞台になりました。朝鮮通信使はこの地から日本に向けて船出。江戸時代に置かれた日本人居留地「倭館」は10万坪（長崎の出島の25倍）の広さだったと伝えられています。20世紀になると、下関と釜山を結ぶ関釜航路が開かれ、日本の侵略、敗戦後の引き揚げ、そして現代へと続く往来で大きな役割を果たしてきました。



写真：対馬から見た釜山

さらに釜山と言えば、「映画」！毎年10月にはアジア最大級の「釜山国際映画祭」が開かれ、内外の映画人やファンでにぎわいます。釜山フィルムコミッションの支援で撮影した映画やドラマも多く、ロケ地は観光地になっています。釜山の近現代を背景にした『反ヘチング』（2001年）、『国際市場で逢いましょー』（2014年）などをご覧いただきたいのですが、私のイチオシ必見作は『弁護士』（2013年）。盧武鉉・元大統領の若き日、釜山での弁護士時代をモデルに『パラサイト』半地下の家族』（2019年）などで知られる名優ソン・ガンホが主演した作品。この映画を観れば、韓国の民主化運動を担った釜山の人と街、その情と熱の一端を知ることができるといってもいいでしょう。

リニューアルオープンした対馬博物館を訪問 名護屋城から吉岐対馬

2023年
5月24日（水）～5月27日（土）179,000円
8月23日（水）～8月26日（土）189,000円



定員：20名 最少催行：10名
添乗員：羽田から同行します

【旅程】

- ①羽田 ✈️ 福岡・唐津着 名護屋城博物館、名護屋城址見学【唐津1泊】
- ②フェリーで吉岐へ、一支国博物館、岳の辻展望台、原の辻遺跡、小島神社など見学【吉岐1泊】
- ③（午前）吉岐島内見学 ➡️ 対馬へ 対馬博物館、萬松院(万松院)長寿院、修善寺など見学【対馬1泊】
- ④対馬島内見学 烏帽子岳展望台、異国の見える丘展望台、豊砲台跡、日露友好の丘見学 対馬 ✈️ 福岡 ✈️ 羽田

二つの引揚げを考える

品田 茂 浮島丸殉難者を追悼する会 会長

引揚記念館の近くには、もう一つの引揚げの歴史があります。

海軍輸送船「浮島丸」の爆沈です。1945年8月22日、青森県内で働いていた数千人の朝鮮人が、故郷の朝鮮に帰るために浮島丸に乗船し、青森県大湊港を出港しましたが、8月24日夕方、舞鶴港に入港した直後、突然の爆発により沈没しました。

青く、波静かな舞鶴湾に真っ黒い重油が広がり、多くの人が助けを求めました。小舟で救助に駆けつけた地元的女性は、あまりに酷い状況に「どうして、こんなことになったの」と、泣きながら救助にあたられていたそうです。

ようやく戦争が終わって、なつかしい故郷での新しい生活を夢見ていた多くの朝鮮人が犠牲になりました。

このような大惨事にもかかわらず、浮島丸爆沈には現在も分からないことが多く残されています。舞鶴港への入港理由、爆発原因、そして乗船者は3735人（政府発表）とも、8000人とも言われ、犠牲者は244人（政府発表）とも、3000人とも言われています。



戦争という痛ましく悲しい惨禍を再び繰り返させないために、犠牲者に思いを寄せ、平和への誓いを新たにす「追悼のつどい」です。

浮島丸殉難者追悼のつどいに参加 舞鶴平和の旅

2023年
8月23日（水）～8月25日（金）95,000円

定員：20名 最少催行：15名
添乗員：羽田から同行します



【旅程】

- ①京都駅集合、電車で舞鶴へ、舞鶴引揚記念館【舞鶴2泊】
- ②午前：浮島丸殉難者追悼のつどいに参加
午後：戦跡フィールドワーク
- ③舞鶴港自衛隊基地を船から見学

舞鶴・伊根・ウトロ 京都平和ツアー

2023年
7月10日（月）～7月12日（水）98,000円



定員：20名 最少催行：15名
添乗員：京都駅から同行します

【旅程】

- ①京都駅集合、舞鶴引揚記念館、浮島丸殉難者追悼の碑見学、伊根町へ【伊根町1泊】
- ②（午前）伊根の舟屋散策、（午後）ウトロ平和祈念館訪問、ウトロ地区フィールドワーク【宇治1泊】
- ③山本宣治墓、平等院鳳凰堂、尹東柱記憶と和解の碑など見学、昼食後、清水寺散策、京都駅解散

ツアー予告

9月27日～10月1日

日韓交流の舞台をたどる
吉岐・対馬・釜山を訪れる旅 5日間

◇吉岐・対馬をめぐる後、朝鮮通信使もわたった海路で韓国第二の都市釜山へ！現地の博物館などを現地ガイドの案内のもと見学します

平和の願いを歌にのせて

音楽と共に素敵な時間を過ごしたい、シンガーソングライターの川口真由美です。

沖縄の辺野古新基地建設反対や、高江のヘリパッド反対行動等に参加し、2014年からコロナ禍に入る直前まで、辺野古ゲート前を何度も座り込みに参加し、ゲート前、トラック搬入の前で歌を歌ってきました。

若い時期に楽しくリゾートとして出向いていた沖縄と、今たたくさんのことを知り学び体感した沖縄とは見え方が大きく違います。

沖縄の米軍基地の多さやその大きさ、基地があるゆえの被害、日常を脅かす爆音、立ち尽くし言葉に出来ないほど深刻な問題はかりでした。選挙や県民投票で辺野古基地建設にたいして反対の民意を獲得しても、平気で無視して蹂躪する政府には怒りしかありません。沖縄の米軍基地は自ら意識して見つめ、体感して思考しなければ見えてこないだろうと、実際に足を運ぶ中から、怒りを歌にして思いをぶつけています。美しい青い海や、青い空といった観光地としてよくいわれるような素晴らしい一方で、沖縄の現状が露出して降りかかり続けているのに、歌うことしか出来ない自分もどかしく、苦しい場面が増えていきます。

沖縄島だけでなく、これまで私が訪れたのは、宮古島、石垣島、鹿児島県の奄美大島ですが…沖縄島の米軍基地建設増強にもなった形で、自衛隊基地の新設、増強がされ、安全保障の名のもとに島々が軍事要塞化していることを目の当たりにしています。それらの現実を見て、私に出来ることは歌うことと話し伝えることだと決めたときから、辺野古での座り込みを続け、今では北海道や、台湾やベトナム、韓国など運動のある現地での出演をしており、その国際的なつながりの強さを感じています。「現場に向ききって何が起きていのかを体感する」という私のスタイルは、ゲート前から始まっていると思っています。

全国をまわっていたのですが、新型コロナウイルスの世界的パンデミックと共に歌の活動は減りました。しかしコロナ禍であつても、基地建設は止まず、ネットで見ているだけの状況は、とてつもなく苦しいものでした。私自身の暮らしは歌を歌うことから創作が主になり、書き溜めた曲を集めて、昨年2022年末にCD「Espina」(発行：㈱音楽センター)をリリースしました。併せて沖縄をロケ地にした写真集も発売しました。私自身初めての経験で、反応が気になりましたが、「一番寄せられているのは「沖縄の現状もみれた」という声でした。歌以外でも伝えられることが嬉しかったです。

2023年6月23日(金)～6月26日(月)

149,000円(羽田空港発) 147,000円(関西空港発)

【旅程】

- ①羽田・関西空港 ✈️ 那覇 嘉手納基地(道の駅かでな)、読谷村、宮森小学校など【那覇市内3泊】②辺野古キャンプシュワブゲート前、瀬嵩の浜、大宜味村など 川口真由美さんミニコンサート
- ③南部戦跡見学(平和祈念公園・平和の礎、ひめゆり資料館、白梅の塔など)④自由行動 希望者はオプショナルツアーにご案内(川口真由美さんフォトブック撮影地めぐり) 那覇 ✈️ 羽田・関西空港

- ◇沖縄を思い平和を歌う川口真由美さんと行く沖縄島の旅!
- ◇川口さんフォトブック「Espina」で訪れたスポットへ!
- ◇現地の平和ガイドの方のご案内で、沖縄の基地問題や沖縄戦の歴史をともに学びます。
- ◇川口真由美さんのミニコンサートも開催。ともに声を上げ、手を繋ぎましょう!



沖縄慰霊の日を訪れる
平和を歌う川口真由美さんと行く
沖縄島の旅 3日間

定員：30名 最少催行：20名
添乗員：羽田空港から同行します

撮影のロケ地は、これまで行ったことのない素敵な場所や、人に知られていない場所がたくさんあり、晴れた日の夕焼けは格別で、驚きの連続でした。私は沖縄へ行くつも座り込みばかりで、空港と辺野古の往復が多かったため、今回の撮影では島の素晴らしい、奥深さを何度も感じました。この度、写真集のロケ地をたどるツアーが企画されると聞いてびっくりしたことも、うれしくていいです。撮影でいろいろとしか行けなかった撮影現場に、もう一度訪れたかったーそして、私の想いや歌を届けることができるー参加される皆さんと撮影現場へ行けることはもちろん、辺野古の状況や他現状を共有できること。そこにこれからのうねりの始まりを感じます。



ついで心ととも、沖縄へ。

東京都学校生協企画 東京都教職員組合後援

シリーズ 子どもたちと沖縄戦①
～護郷隊・ひめゆり学徒隊から見た戦争～

2023年7月29日(土)～8月1日(火) 139,000円

定員：30名 最少催行：18名
添乗員：羽田から同行します

- ◇元護郷隊員(少年ゲリラ兵)の方のお話を聞き、北部の知られざる沖縄戦を学びます。
- ◇ひめゆり学徒隊の足跡をたどる南部戦跡見学とワークショップで学習を深めます。
- ◇南部・中部・北部にある憲法9条の碑をめぐる、沖縄から平和を考えます。

【旅程】

- ①羽田 ✈️ 那覇、那覇市・西原町・読谷村の憲法9条の碑、名護市の第一護郷隊の碑【名護泊】
- ②大宜味村の9条の碑、元護郷隊の方のお話、恩納村フィールドワーク【那覇市泊】
- ③ワークショップ・南部戦跡見学(ひめゆり学徒隊の足跡をたどる)【那覇市泊】
- ④オプショナルで、「沖縄戦と文学コース」と「普天間基地と辺野古の基地問題コース」 那覇 ✈️ 羽田



平和ながいて 弦なりやまず

ヴァイオリニストの松野 迅です。私は日本で最も個性的な土地のひとつである、大阪の南河内で生まれました。八歳よりヴァイオリンをはじめ、来年は「音楽生活五五周年」を迎える予定です。

演奏者の人生には、もれなく演奏旅行といつたびがついてきます。モーツァルトは、35年の人生の三分の二が「ツアー生活」でした。私も十三歳から「コロナ禍までの数十年間、「枕が変わらないと眠れない」日々を過ごしてきました。その中で、枕の場所よりも地球で暮らすことの属性を考えるようになりました。国境のこと、民族や宗教とその歴史、経済や環境の現実…。

平和とは「戦争や暴力がない」ことだけでなく、「格差や差別もなく、搾取や貧困もない」ことと直結していると思います。

私が演奏活動を長きにわたり続けて来られたのは、理由があります。それは「日本国憲法第九条」の存在です。他の国では、

「コロナ禍の中で相次ぐコンサートの中止、開催するとしても感染予防策として客席数を減らすことを余儀なくされるなど、これまで経験したことのない困難な日々を過ごしてきました。そして起こったロシアのウクライナ侵攻です。脳の苦痛はますます増して沈黙化しません。今こそ叡智を結集した対話が必要な時に、武器のタンクトロとタンクトロのそばをを広げられると、ため息が増すばかりです。

希望を見出したいとねがっていた2021年の暮、私はお声がけ頂いたラジオ番組のパーソナリティをはじめました。放送の台本を書くことに意欲が湧き、番組で使用できる言葉づかいを学びなおしたりしながら、お相手のパーソナリティ・植草ひろみさんチェリストの明るさとパワーに支えられて、3月2日には第100回目の番組放送を迎えることができました。

番組のタイトルは「ピースリー・ミュージック」です。三つのピースを意味します。1971年、チェリストのP・カザルスが国連で語ったメッセージ「今日は私の故郷カタルニアの民謡を弾こうと思えます。『鳥の歌』です。鳥たちは空を、大空を飛びながらうたいます。『ピース！ピース！ピース！』が反映されています。

私は、二つ目のピースを自身の意志表現として、三つ目のピースは他者との共鳴として、そして三つ目のピースは戦争などで亡くなった人たちの想い、として位置づけています。これが番組の地下室となっているのです。

人間として、音楽家としての成長に最も重要な年齢で兵役生活を強いられた人たちの苦渋に、私は各地で接してきました。

「第九条」の大切さと核兵器の廃絶をねがい、本年は広島女学院所蔵の「被爆ヴァイオリン」を用いたのコンサートシリーズが進行中です。ラジオやコンサート会場でお目にかかりましょう。

ヴァイオリニスト/松野 迅 まつのじん

大阪生まれ。八歳よりヴァイオリンをはじめ十三歳で音楽界にデビュー。以降日本とアジア各地ヨーロッパで演奏活動を繰り返してきた。またエッセイストとして、新聞や雑誌の連載、エッセイ集が刊行されている。さらに「九条の会」の講師陣のひとつとして国内各地で講演やコンサートを重ねてきた。京都市立芸術大学卒、日本音楽著作権協会会員。

富士国際旅行社も登場します!

ラジオ番組
peacelly music
ピースリー・ミュージック

まつのじん(ヴァイオリニスト)と植草ひろみ(チェリスト)がおくるトークと音楽の1時間

毎週木曜日
◆13:00～◆再放送 21:00～
インターネットで同時にきけます

提供*松野迅後援会 協力*音楽センター

検索は「ラジオ成田」
スマートフォン、パソコン、iPad などからアクセスできます。



「もっと気楽に、もっと軽やかに。さあ、ちょっくら隠岐へ。」

島根県「隠岐の島」は母の故郷です。母の最後の里帰りにと島を訪れた際、透明度の高い海、緑まぶしい木々、人々の温かさに心打たれた私は帰りのフェリーで「隠岐に住んでみようかな」と思いつきました。当時、隠岐について知っていたことは、「後鳥羽上皇と後醍醐天皇が流された島」ということだけです。

人が住む4つの島と多くの無人島で成り立つ隠岐諸島は大きく島前(どうぜん)と島後(どうご)に分けられます。隠岐の島は昔、山陰道の延長線上にあると考えられていて、本州から見て手前側を道前、後ろ側を道後と呼んでいたそうです。いつの頃からか「道」に代わり「島」と言う字が当てられ、今の表記になったと言われています。

私が住んでいるのは島後、隠岐の島町です。病院、スーパー、ホームセンターなどがあり、4島の中で最も都会的。なのに、日本が大陸と繋がっていた頃から現代に至るまでの時代背景をこの島の中で垣間見ることができるのです。コンパクトな島にひろがる壮大なドラマ!知れば知るほど奥深い島だと感じます。島前は西ノ島(西ノ島町)、中ノ島(海士町(あまちょう))、知夫里島(ちぶりじま)(知夫村)の3島から成り、カルデラ地形が特徴です。小さな島それぞれに広がる景観は、静かさの中に力強さを秘めているようです。島前と島後は同じ隠岐でありながら、気候や植生、伝統文化などに違いが見られるのも面白いところです。

みなさんは何に、どんなことに興味を持っていますか?私がいち早く隠岐といえば、地形にときめいたり、岩石のとりこになったり、動植物が大好きだったり、スピリチュアルな世界に惹かれたり。古墳や山城、林道、トンネル、灯台、マンホール、88ヶ所めぐりなどなどでしょうか。

「ちょっと隠岐に行ってくる」から生まれた「ちょっくらOKI」。みなさんと隠岐の島を繋ぐ架け橋になれたらと思います。地域限定旅行業とガイド業をスタートさせました。みなさんの好奇心に合わせて「地域に密着したローカルなちょい旅」をプランニング。私「たきB.A」が友達のように、遠い親戚のようにみなさんをお出迎え、ご案内できたらいいなと思っています。

——「たきB.A」 ちょっくらOKI(現地コーディネーター)

5日間

～隠岐の島・中ノ島・西ノ島～
隠岐諸島をめぐる交流の旅

2023年9月24日(日)～9月28日(木) 費用後日発表

定員:25名 最少催行:10名
添乗員:羽田から同行します

- ◇島自体が世界ユネスコジオパークの隠岐諸島! 隠岐の島で、島の歴史や文化・自然について学びます。
- ◇「ないものはない」から魅力創造の町へ! 町おこしに取り組む中ノ島海士町を見学。地場産業や教育の取り組みを学びます
- ◇西ノ島では、実話に基づく映画『ラーゲリより愛を込めて』の主人公・山本幡男氏ゆかりの地を見学
- ◇隠岐諸島ならではの自然景観・郷土料理をお楽しみください

【旅程】

- ①羽田✈伊丹✈隠岐空港、隠岐の島見学(自然館、地元の方から隠岐の歴史や自然についてのお話)【隠岐の島町2泊】
- ②隠岐の島見学(日露戦争と隠岐諸島の関わり、竹島問題を学ぶ見学地)
- ③フェリーで海士町へ。海士町の町おこしの取り組みを学ぶ【海士町泊】
- ④フェリーで西の町へ。山本幡男ゆかりの地をめぐる【西ノ島町泊】
- ⑤フェリーで隠岐の島町へ。隠岐空港✈伊丹空港✈羽田空港



6日間

鹿児島・水俣・天草・長崎をめぐる
大人の学習体験旅行in九州

- ①2023年6月24日(土)～6月29日(木) 215,000円
- ②2023年11月22日(水)～11月27日(月) 後日発表

【旅程】

定員:25名 最少催行:15名
添乗員:羽田から同行します

- ①羽田✈鹿児島美山着 寿官陶苑、朝鮮人陶工上陸之地など見学【鹿児島1泊】
- ②専用車で水俣へ、百間排水口、おれんじ鉄道水俣駅・チッソ正門、茂道漁港、相思社考証館など見学、患者の方のお話【水俣1泊】
- ③(午前)蔵之元港 牛深港 天草へ 崎津天主堂、大江天主堂、天草キリシタン館見学【天草1泊】
- ④(午前)鬼池港 口之津港へ 原城跡見学、車窓から諫早湾潮受堤防見学、平和公園見学【長崎2泊】
- ⑤原爆資料館見学、軍艦島ツアー、岡まさはる資料館、26聖人記念館など見学
- ⑥名護屋城博物館見学、昼食後空港へ 福岡✈羽田



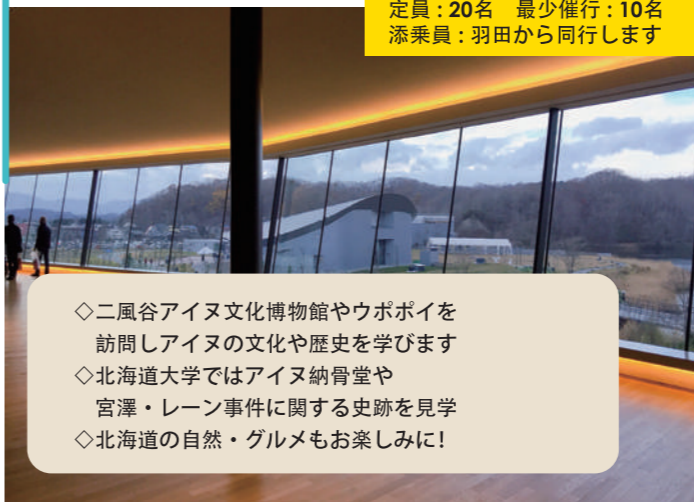
- ◇国内ツアーでは最長の5泊6日! 濃密なスタディツアーで九州を満喫
- ◇豊田秀吉の朝鮮出征で連行された陶工沈家によって400年守り続けられてきた薩摩焼の名門、沈壽官窯を訪問します
- ◇水俣にたっぷり1日滞在、水俣病の過去と現在を考えます
- ◇天草で隠れキリシタンの歴史に触れます
- ◇長崎では軍艦島に上陸、岡まさはる資料館を訪問!
- ◇最終日は名護屋城博物館をじっくり見学します

3日間

「人(アイヌ)」を通じ生きる
エネルギーにふれる旅

- ①2023年5月23日(火)～5月25日(木) 131,000円
- ②2023年8月29日(火)～8月31日(木) 136,000円

定員:20名 最少催行:10名
添乗員:羽田から同行します



- ◇二風谷アイヌ文化博物館やウポポイを訪問しアイヌの文化や歴史を学びます
- ◇北海道大学ではアイヌ納骨堂や宮澤・レーン事件に関する史跡を見学
- ◇北海道の自然・グルメもお楽しみに!

【旅程】

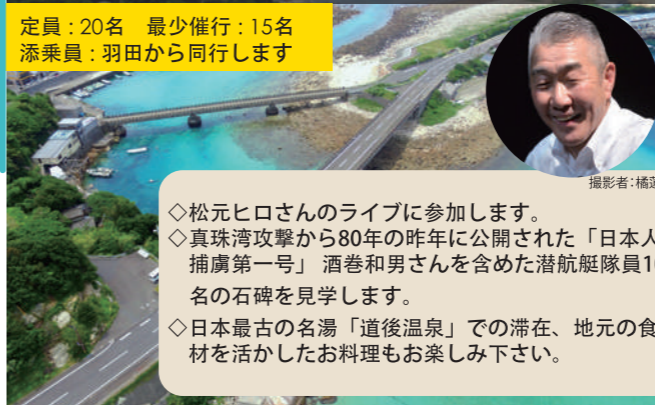
- ①羽田✈新千歳 平取町二風谷アイヌ文化博物館など見学【登別1泊】
- ②知里幸恵銀のしずく記念館、白老町ウポポイ(民族共生象徴空間)訪問【札幌1泊】
- ③北海道大学構内見学 新千歳✈羽田

4日間

松元ヒロさんのライブに参加!
四国西南平和交流の旅

2023年7月17日(月)～7月20日(木) 189,000円

定員:20名 最少催行:15名
添乗員:羽田から同行します



- ◇松元ヒロさんのライブに参加します。
- ◇真珠湾攻撃から80年の昨年公開された「日本人捕虜第一号」酒巻和男さんを含めた潜航艇隊員10名の石碑を見学します。
- ◇日本最古の名湯「道後温泉」での滞在、地元の食材を活かしたお料理もお楽しみ下さい。

【旅程】

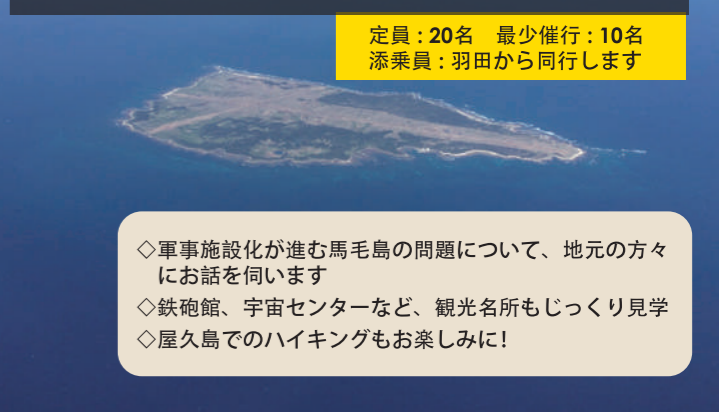
- ①羽田✈松山 松元ヒロさんライブに参加【道後温泉泊】
- ②大洲・八幡浜周辺見学(上甲米太郎の碑、大洲九条の碑など)卯之町見学【宇和島泊】
- ③西海観光船、黒潮実感センターなど柏島周辺【大月町泊】
- ④宇和島水産高校、伊方原発など伊方町・松山✈羽田

4日間

種子島・屋久島 平和交流の旅

- ①2023年5月22日(月)～5月25日(木) 169,000円
- ②2023年7月18日(火)～7月21日(金) 179,000円

定員:20名 最少催行:10名
添乗員:羽田から同行します



- ◇軍事施設化が進む馬毛島の問題について、地元の方々にお話を伺います
- ◇鉄砲館、宇宙センターなど、観光名所もじっくり見学
- ◇屋久島でのハイキングもお楽しみに!

【旅程】

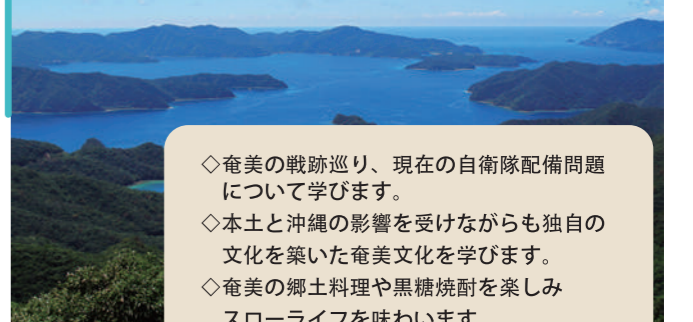
- ①羽田✈鹿児島✈種子島 地元の漁師の方々と懇談【種子島2泊】
- ②鉄砲館見学、陸から馬毛島見学、中種子町戦跡見学
- ③種子島宇宙センター見学、午後 種子島 屋久島 屋久島自然館見学、ヤクスギランド散策【屋久島1泊】
- ④馬毛島の軍事施設化による屋久島への影響を考える地元の方のお話 屋久島✈鹿児島✈羽田

4日間

奄美大島
歴史・文化・交流の旅

- ①2023年5月29日(月)～5月31日(木) 145,000円
- ②2023年9月24日(日)～9月27日(水) 148,000円

定員:20名 最少催行:10名
添乗員:羽田から同行します



- ◇奄美の戦跡巡り、現在の自衛隊配備問題について学びます。
- ◇本土と沖縄の影響を受けながらも独自の文化を築いた奄美文化を学びます。
- ◇奄美の郷土料理や黒糖焼酎を楽しみスローライフを味わいます。

【旅程】

- ①羽田✈奄美大島 ①奄美の概要を学ぶ(奄美龍郷ミュージアム)
- ②奄美の戦争の歴史を学ぶ(古仁屋周辺の戦跡巡り)フェリーで加計呂麻島へ 安脚場戦跡公園見学、男はつらいよ撮影地、デイゴ並木など見学 ③現在の問題を学ぶ(陸上自衛隊基地周辺を見学し、自衛隊配備問題について地元の方からお話を聞きます) 大島紬の工房を見学④奄美の自然文化を学ぶ(黒潮の森マングローブパーク、世界遺産センター) 奄美大島✈羽田

01

レブナツモリソウ
レブノウスユキソウ の季節・稚内直行便を利用!

礼文島・利尻島 花散策

全日程 208,000円

- ① 5月28日(日)～6月1日(木)
- ② 6月1日(木)～6月5日(月)
- ③ 6月5日(月)～6月9日(金)
- ④ 6月17日(土)～6月21日(水)
- ⑤ 6月21日(水)～6月25日(日)



定員：20名 最少催行：10名
添乗員：羽田空港から同行します

◇礼文島・桃岩展望台から利尻島を眺めながらゆったりハイキング
◇利尻島では姫沼やオタマリ沼を含む島内一周観光
◇北海道ならではの新鮮なうなぎや海鮮料理もお楽しみください

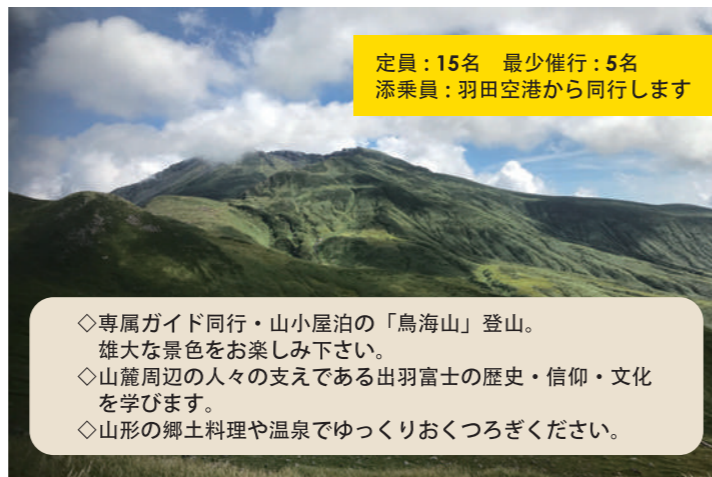
【旅程】

- ①羽田✈️ 稚内 稚内港➡️ 礼文島【礼文島内泊】
- ②ゴロタ岬・花散策 約12km 約4時間【礼文島内泊】
- ③午前：桃岩歩道・花散策 午後：礼文島➡️ 利尻島【利尻島内2泊】
- ④午前：利尻島内観光 午後：自由行動
- ⑤午前：宗谷岬見学 午後：稚内空港 ✈️ 羽田空港

02

高山植物の宝庫・日本百名山 鳥海山と月山トレッキング

- ① 2023年7月28日(金)～7月31日(月) 139,000円
- ② 2023年8月27日(日)～8月30日(水) 139,000円



定員：15名 最少催行：5名
添乗員：羽田空港から同行します

◇専属ガイド同行・山小屋泊の「鳥海山」登山。雄大な景色をお楽しみ下さい。
◇山麓周辺の人々の支えである出羽富士の歴史・信仰・文化を学びます。
◇山形の郷土料理や温泉でゆっくりおくつろぎください。

【旅程】

- ①羽田(午前)✈️ 庄内、獅子ヶ鼻湿原散策【遊佐町泊】
- ②鳥海山登山(高低差1136m、8km、往路：約5時間半)【山頂小屋泊】
- ③鳥海山登山(高低差1086m、6km、復路：約4時間)鶴岡市へ(藤沢周平記念館)【志津温泉泊】
- ④午前：月山登山(高低差約500m、9km、往復3時間) 午後：庄内✈️ 羽田

03

樹齢7000年の縄文杉に出会う 世界自然遺産・屋久島を歩く旅

- ① 2023年5月21日(日)～5月24日(水) 175,000円
- ② 2023年7月23日(日)～7月26日(水) 179,000円
- ③ 2023年10月1日(日)～10月4日(水) 175,000円



定員：12名 最少催行：6名
添乗員：羽田空港から同行します

【旅程】

- ①午前) 羽田✈️ 鹿児島✈️ 屋久島着環境文化村センターへ【屋久島3泊】
- ②縄文杉コース(往復約8～10時間)
- ③OP(日本百名山の宮之浦岳・ものけの舞の舞台白谷雲水峡)
- ④午前：屋久杉自然館見学、地元の方からのお話 午後：屋久島✈️ 鹿児島✈️ 羽田

◇専属登山ガイド同行・少人数で縄文杉コースを歩きます
◇3日目は選べるオプションツアー(宮之浦岳・白谷雲水峡)
◇屋久島の歴史や文化、環境保護について地元の方からのお話

04

高野山の宿坊に泊まり、名湯に癒される 高野山と熊野三山を巡る旅

- ① 2023年5月21日(日)～5月24日(水) 145,000円
- ② 2023年10月1日(日)～10月4日(水) 145,000円



定員：20名 最少催行：10名
添乗員：羽田空港から同行します

【旅程】

- ①羽田✈️ 関西空港 高野山・奥ノ院見学【高野山泊】
- ②中辺路散策(6.9km徒歩約2時間) 熊野本宮大社【川湯温泉泊】
- ③2コースから選択(1)中辺路ハイキング小雲取越コース(2)湍峡のんびり観光コース、両コースともに熊野速玉大社見学【勝浦温泉泊】
- ④熊野那智大社、吉野熊野国立公園見学、南紀白浜 ✈️ 羽田

◇高野山の宿坊に宿泊、精進料理もお楽しみ
◇中辺路散策では現地の語り部ガイドが同行
◇熊野三山(熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社)を見学

東京大空襲の実態伝える 戦災資料センターのとりくみ

工藤芳弘(東京大空襲・戦災資料センター運営委員)

アジア・太平洋戦争の末期の1945年3月10日、アメリカ軍の無差別爆撃によって東京の下町一帯は焼け野原になり、約10万人もの人々の命が奪われました。この空襲のほかにも、東京は100回以上の空襲を受け多くの人が命を失いました。その多くは、戦時下の日常を懸命に生きていた民間人—女性、子ども、高齢者でした。

東京大空襲・戦災資料センター(以下、センター)は、空襲の実相を伝えるとともに、空襲の中で人々がどのような体験をし、どう生きていったのかを知ってほしいとの思いから設立されました。また、日本社会がその歴史や経験にどのように向き合ってきたのかをセンターを通じて知り、多くの人に伝えるきっかけにしてほしいとの思いが込められています。

多くの個人・団体の募金により、2002年3月に設立された国立民営のセンターは、「知らないなら学ぼう、知っているなら伝えよう」を目標にこれまで歩んできました。

戦争中に多くの一般市民が被害を受けた出来事としては、広島や長崎への原爆投下、沖縄戦などがよく知られています。しかし、東京の空襲のことはどこまで知られているでしょうか。東京の空襲を専門に扱っている公立の博物館はありません。国立民営のこのセンターが唯一です。

一昨年6月、開館20年の年にセンターは展示リニューアルを行い、戦争の惨禍を風化させないで次代に伝えるとともに、学び交流し合う場をコンセプトとしました。

リニューアルされたセンター1階は、映像・講話室になっており、映像の上映やイベント会場などに利用されています。学校などで希望すれば体験者の話も聞くことができます。また、空襲の全体像が分かるように大きな被災地図や現代までの空襲の年表が展示されています。2階は展示室です。東京の空襲で被災した人々の体験を中心に、4つのコーナーに分けて展示しています。また、体験記やいくつかの資料には、QRコードが付いており、携帯端末などで読み込むと、関連する証言や動画を見たり聞いたりすることができます。

展示コーナーは、①「戦時下の日常」(戦時体制に組み込まれていく東京、当時のくらしや学校のような展示。また、防空に関するものや灯火管制の部屋を再現しています。)、②「空襲の実相」(重さが実感できる焼夷弾の実物模型。「東京大空襲・戦災誌」から選んだ体験記、すみだ郷土文化資料館の体験画、夜が明けた空襲後の惨状の写真や被災品の展示とともに、それぞれの3月10日の体験を描き出しています。)、③「証言映像の部屋」(空襲体験談を記録した証言映像を見ることができます。)、④「空襲後のあゆみ」(空襲後の仮埋葬、戦災孤児や食糧難、補償運動や空襲記録運動、センター設立の経緯など、選後も続く空襲被害や問題について展示しています。)の4つです。

現在、センターでは、展示・図録等を活用した教員研修プログラムおよび平和教材の開発にかかわる研究プロジェクトを立ち上げてワークショップを行うなど、若い世代に向けたとりくみを進めています。また、センター周辺を中心としたフィールドワークや旅行社を通じた平和ツアーの企画などを検討しています。

あの戦争から長い年月が経ち、空襲の実態を掘り起こし、伝えてきた方々が少なくなってきました。そうした人々の歩みや想いを受け継ぎ伝えていくためにも、センターの存在意義はますます高まっています。一度は訪れて、東京の空襲のことを知ってほしいと思います。

横浜からウクライナ、そして南西諸島へ

伊藤千尋(国際ジャーナリスト)

防衛費を倍増して戦争に備えよう...としているのが岸田政権です。敵を中国とはっきり想定したうえでの実戦配備です。九州の南に連なる沖縄など南西諸島の島々にはここ数年、着々とミサイル基地が完成しています。首都圏に住む人にはなかなか現実味が感じられませんが、実は身近な横浜に戦争の足跡が迫っています。

横浜港のランドマークタワーの対岸に広がる瑞穂ふ頭。その広大な地には戦後、米軍が物資を陸揚げする拠点として使ったノースドックがあります。地元の神奈川県や横浜市などは早期返還を求めてきました。ところが返還どころかこの1月、米軍は小型揚陸部隊を配備すると決め、日本政府も合意しました。地元を無視した頭ごなしの決定です。

揚陸部隊とは、上陸用舟艇などを使って敵地に兵士を送り込む部隊です。つまり侵略の先兵。それを横浜に常駐させようというのですから穏やかではありません。中国との戦争を前提として、米軍は現実には部隊を動かしているのです。

いざ台湾をめぐる中国との戦争が始まれば、米海兵隊は南西諸島を拠点に展開して中国に向けてミサイルを撃ち込むという攻撃計画がすでに公表されています。その南西諸島に横浜から部隊や物資を送る拠点が、ここなのです。

ということは、戦争になればこの横浜も中国から攻撃される目標になるのは自明です。そんな大事なことが住民の何の了解もなく日米の政府の間で勝手に決められ、既成事実となって進行しているのです。おかしいと思わないでしょうか。

横浜港の先にある横須賀は米軍の世界戦略に位置づけられた米第7艦隊の基地です。ここではベトナム戦争の時代、戦闘で破壊された戦車などが戦地から運び込まれ、相模原の補給廠で修理されて再び戦地に送られていました。

日本は米軍の後方基地だったのです。黙って見ておらずに阻止しようと、戦車を乗せたトレーラーの前に市民100人が素手で立ちふさがったのは1972年8月でした。原水禁世界大会のために来日していたベトナム代表がここで「みなさんが流す汗の一滴、一滴はベトナム人民の血の一滴を救う」と話したところ呼応した市民は数千人に膨れ上がり、100日にわたって戦車を止めたのです。

その光景を描いた歌「戦車は動けない」はベトナムにも流れて米軍と戦う人々を鼓舞しました。歌った横井久美子さんが亡くなって2年。いま、ウクライナではロシアによる侵略戦争が続いています。ウクライナを軍事支援しようと欧米の国々は戦車を送っていますが、ベトナム戦争当時の日本の市民は侵略者の戦車を止める戦術をとりました。戦争をけしかけるのではなく、戦いをやめさせるという非暴力の戦いを展開したのです。

今回、富士国際旅行社が計画した横浜のツアーは相模原、厚木の基地もめぐります。ベトナム戦争時代に思いを馳せるとともに、すこぶる今日的な現代の世界、そして日本が巻き込まれようとする近未来に思いをめぐらせるものです。

平凡な世界が一瞬にして激しく揺さぶられる事実を、私たちは1年前のウクライナで知りました。今後、私たちの社会に降りかかるかもしれない事実を想像するためにも、そしてかつての日本市民が持っていた抵抗の力を想起するためにも、このツアーに参加しませんか？

Point!

関連ツアーは裏表紙24ページへ

ボスニア・ヘルツェゴビナとスポーツを通じた民族の架け橋『マリモスト』

特定非営利活動法人Little Bridge 代表理事 樋口昌平

毎年、4月6日は、国連が制定した「開発と平和のためのスポーツの国際デー」。国連は、スポーツが平和と開発を促し、寛容と相互理解を育むという側面に着目してスポーツを活用しており、世界中でさまざまなNGOがスポーツを活用してさまざまなプロジェクトを展開しています。私たち「Little Bridge」もそんなNGOの一つで、「スポーツを通じて社会課題を解決する」ことを目的としていて、1990年代に第二次世界大戦以降の欧州で最悪の紛争と言われる「ボスニア紛争」の舞台となったボスニア・ヘルツェゴビナ



の南部の街「モスタル」で他民族の子どもたちが一緒に活動するスポーツアカデミーを作ることで民族対立の歴史を変えることができなにか、というもの。モスタルの街は、街の中心を流れるネトヴァ川を挟んで、基本的に東側にボスニア系(イスラム系)住民、西側にクロアチア系(カトリック系)住民、街の周辺部にセルビア系(セルビア正教系)住民が暮らしています。紛争時には激戦地の一つだったこの街では激しい市街戦が繰り返され、紛争前に仲良くしていた隣人に銃で撃たれた、などの悲劇がいくつも起りました。

紛争終結から既に四半世紀以上が経過しましたが、それぞれの民族が仲良く共存しているという状況には程遠く、基本的には川を挟んで分断しているといった状態が続いていて、その負の感情が世代を超えて受け継がれてしまっている影響も出ています。私たちは、紛争を経験していない世代の対立感情は、子どもたちが育っている社会環境において影響を受けてしまうために生まれてしまうものだと考えています。

紛争により家族や友人を失ってしまった悲しみ、怒りなどから相手の民族を憎む気持ちが根深く残っている方も少なくないのですが、その負の感情を未来の世代へ引き継いでいくべきではないと考えている方々もいらっしゃって、そんな彼らの子どもたちが毎日アカデミーに通ってきています。自分達や自分達の親世代では紛争が起ってしまったけれど、子どもたちには紛争の歴史を繰り返してほしくない、私が話を聞いたお父さんはそのように話していました。スポーツは、民族や宗教が異なっても、言葉が通じなくても、一緒に活動を楽しめる素晴らしいツールです。一緒に楽しむことでチームワークや他者に対するリスパベットの精神なども学ぶことができます。

小さな頃から他民族の子どもたちと一緒に活動する環境が当たり前になれば、自然と仲良くなる子どもたちが増え、さらにアカデミーの歴史を紡いでいければ、民族間にスポーツで橋をかけることができるかもしれない、互いに多様性を認め合う社会になれるかもしれないと考えています。私たちは「Little Bridge」という名前の通り、小さな小さなNGOですが、私たちの活動を応援していただくと嬉しいです。

*マリモスト・・・現地の言葉で「小さな橋」を意味し、このアカデミーが民族の心の懸け橋になるという想いが込められています。



休み時間になると、わーっと声を上げながら、子どもたちが図書室に入ってきます。ここはイラク。クルド自治区ドホーク。避難家族の子どもたちが多く通うバヤム小学校。戦争や紛争、イスラム国)による占領などから逃れた避難民で人口が増えたこの地域では学校が足りず、ここも午前・午後に分けて、高校と小学校で同じ校舎を使っています。その学校に、私たちピースセルプロジェクト(Peace Cell Project、略称PCP)が、昨年、学校図書室を開設しました。現地で購入したりご寄付いただいた絵本が手作りの可動式書架に収められ、壁にはパブリック出身のイラストレーターが描いた想像力に富んだ絵がいっぱいに描かれ、書架を動かせばワークショップもできる画期的な学校図書室です。PCPでは他にも、移動図書館を作って、難民キャンプや公園、小児病棟などで読み聞かせを行ったり、アラビア語・クルド語・英語など多言語の絵本や紙芝居の出版もしています。これらの絵本はブック・ドネーションとしてお買い上げいただく、現地の学校・保育園・孤児院・小児病院の子どもたちに届けられます。なかには「生まれて初めて自分の絵本を持った」と喜びをいって、「絵本がある環境」を当たり前にしたいと改めて思われます。図書室に駆け込んでくる子どもたちを見れば、みんな絵本が、絵本のある場所が、絵本の周りにいるおとなが、こんなに好きなんですから。

絵本と演劇で紛争を止める～イラクから平和細胞を!～

一般社団法人ピースセルプロジェクト 平丸久美子

PCPは、長年イラクで人道支援を続けてきた高遠菜穂子を中心に、イラクの子どもたちや若者たちに、平和教育とエコロジー(環境保護)などのプログラムを、日本とイラクの共同で行う非営利団体です。冒頭で紹介した「読書キャンペーン」演劇の手法を使った「コミュニケーションワークショップ」、自然環境保護活動や再生可能エネルギーの推進といった「エコロジープログラム」の3本を柱に、この地域で世代を超えて受け継がれてしまつ「報復の連鎖」を断ち切り、現地の人々による平和構築を10年かけて実現していこうというプランの下、プロジェクトを行っています。「絵本と演劇で紛争を止める」と聞く夢物語に聞こえるかもしれませんが、これは夢とは真逆の現実を見た現地の若者の言葉に基づいています。「この国が味わった最悪の血みどろの地獄の年月の中で、たったひとつ、ぼくらが得たものがあつたら、それは、多様性だ!」



多様性、自分と違う他者を認め、理解し、共生しようとすることを若い世代が始めようとしている今だからこそ、理解力・共感性・想像力・共生力を育む読書や演劇の方法や環境への取り組みの重要性が、沁み入るように体を巡り、未来につながる平和細胞を増殖させるのではないかと、そう信じています。



11月予定

ピースセルプロジェクト イラク スタディーツアー

- ◇PCPが現地で作った図書館を訪れ、活動にふれながら、平和構築について学び考えます
- ◇ジェノサイドを生き延びた女性たちがぬいぐるみや工芸品を作る工房を見学
- ◇イラクの豊かな歴史を知る古代遺跡や、美味しい食べ物もお楽しみに♪

私たちの活動は、下記をご覧ください。
<https://www.peacecellproject.org/>

川成洋先生と行く
ロンドンの歴史・文化・文学を学ぶ旅

2023年9月17日(日)～9月22日(金) 658,000円
※燃油等別途

定員:13名 最少催行:8名
添乗員:同行します

◇法政大学名誉教授であり、『英国スパイ物語』(中央公論新社)などを含む180点余りの著訳書を出されてきた川成洋先生とイギリス・ロンドン市内外を歴史的、文学的視点から巡ります。
◇ロンドン市内に連泊しますので、お荷物の運搬の手間がございません。

【旅程】

- ①羽田発(午前) ✈ ヒースロー着、【ロンドン4泊】
- ②ベイカーストリート、リージェント・ストリート、ピカデリーサーカス、衛兵交代に向かう行進の見学、ウエストミンスター寺院、国会議事堂、首相官邸、テムズ川下り、ロンドン塔
- ③ウィンザー城、イートン校、ケンブリッジ、キングス・コレッジ、トラファルガースクエア
- ④レーニンが住んでいたアパート・マルクスの墓、マルクス・メモリアル・ライブラリー、大英博物館、マルクスが住んでいたアパート(ブルーパーク)
- ⑤午前: 自由行動 夜: ヒースロー空港発
- ⑥夕方: 羽田帰国



義務教育が18歳まで引き上げられた
「フィンランド」の教育と高齢者福祉を学ぶ旅

定員:20名 最少催行:10名
添乗員:同行します

- ① 2023年9月25日(月)～10月2日(月) 675,000円 ※燃油等別途
- ② 2023年11月26日(日)～12月3日(日) 699,000円 ※燃油等別途

◇フィンランドの教育機関や高齢者福祉施設を訪れ、「教育世界一」「幸福度世界一」と言われる実態を学びます
◇ヌークシオ国立公園ハイキング。森と湖の国の自然を満喫します。

【旅程】

- ①成田または羽田発 直行便または経由便でヘルシンキへ【機中泊】
- ②ヘルシンキ着、ヘルシンキ市内見学【ヘルシンキ5泊】
- ③教育視察(教育全般についてのレクチャー、初等教育の学校訪問)
- ④教育視察(障害児教育、高等教育関連施設見学)
- ⑤高齢者福祉(高齢者福祉全般についてのレクチャー、関連施設訪問)
- ⑥ヌークシオ国立公園ハイキング、午後自由行動
- ⑦午前自由行動、午後ヘルシンキ発 帰国の途へ【機中泊】
- ⑧成田または羽田着



たびのおきざし
01

私をはじめてイギリスの土を踏んだのは、1969年でした。もう半世紀余り前のこと。当時、ドルを入手するのは日本銀行だけで、しかも最大金額は500ドルでした。ロンドン大学での学会出席でしたので、それが終わると、一目散にロンドン名所見物と市内散策。今まで書物の世界だった名所旧跡などがロンドンに集中しています。血みどろの英国王権史の舞台となったロンドン塔。1930年代世界に誇る知識人や作家が蟄集したブルームズベリー地区とその隣の大英博物館。ベラスケスの《鏡のヴィーナス》やコンスタブルの《乾草車》などのナショナル・ギャラリー。そして夏目漱石がロンドンから向かった12世紀創建のケンブリッジの大学の町。こういう所にいると、イギリス人の「田舎」嗜好の理由が分かるような気がしません。一緒に行きませんか。

—川成 洋

5月開講 川成先生連続講座
イギリス歴史講座

- *第1回 5月19日(金)14時～16時
ブリテン島における諸民族の興亡(ケルト人、ローマ人、アングロ・サクソン人)
- *第2回 6月2日(金)14時～16時
大陸国家から島国国家の誕生(ノルマン・コンクエストから百年戦争)
- *第3回 6月16日(金)14時～16時
テューダー朝の時代(ヘンリー7世からエリザベス女王)
- *第4回 6月30日(金)14時～16時
イギリス帝国の生成(産業革命と首相の誕生)
- *第5回 7月14日(金)14時～16時
ヴィクトリア女王の時代(アヘン戦争からインド帝国創建)
- *第6回 7月28日(金)14時～16時
20世紀初頭のイギリス(女性参政権から第1次世界大戦)
- *第7回 8月4日(金)14時～16時
第2次世界大戦(チャーチルからアトリー)
- *第8回 8月18日(金)14時～16時
戦後のイギリス社会(議会、人種問題)

参加費:16,000円(全8回)
参加方法:会場(富士国際旅行社事務所)
※オンライン同時配信・録画視聴あり

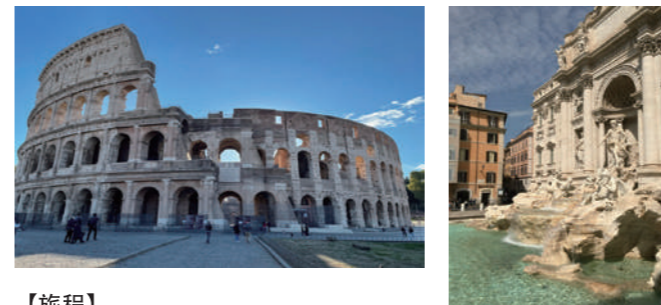


ボローニャのまちづくりに学ぶ
ローマ・ボローニャをめぐる旅

9月11日(月)～9月17日(日) 495,000円
※燃油等別途

定員:25名 最少催行:15名
添乗員:同行します

- ◇ローマ在住佐藤三子さんのご案内でローマをめぐる
- ◇ボローニャでは地元の方と交流、まちづくりを学びます
- ◇イタリアの食文化もお楽しみ頂きます♪



【旅程】

- ①成田発 ✈ ローマ着【ローマ泊】
- ②午前: ローマ市内見学(コロッセオ・フォロロマーノ・トレヴィの泉・スペイン階段) 午後: ボローニャへ【ボローニャ泊】
- ③ボローニャ市内見学(旧ボローニャ大学・サンペトロニオ大聖堂、市庁舎) 地元の方との交流
- ④ボローニャのまちづくりを学ぶ(産業博物館・社会協同組合など) 陸路、ローマへ【ローマ泊】
- ⑤ローマ市内見学、午後: 自由行動【ローマ泊】
- ⑥空路、ローマ発、成田へ【機中泊】
- ⑦成田着

負の歴史を学び、未来に語り継ぐ
アウシュビッツを訪れるポーランド

- ①5月23日(火)～5月30日(火) 485,000円
- ②7月11日(火)～7月18日(火) 495,000円
- ③8月17日(木)～8月24日(木) 535,000円
- ④10月2日(月)～10月9日(月) 495,000円

※燃油等別途



リストランテ・カルミネシェフのヴィラに滞在!
トスカーナスローフードの旅

2023年8月12日(土)～8月19日(土) 後日発表

定員:15名 最少催行:10名
添乗員:同行します

- ◇カルミネシェフのヴィラに滞在! 直接の料理レッスンを開催します
- ◇「暮らすように旅する」イタリアでの生活をお楽しみください♪



【旅程】

- ①成田発 ✈ ヨーロッパ内1都市を経由しフィレンツェへ【フィレンツェ泊】
- ②午前: フィレンツェ市内見学(ドォーモ・シニョーリア広場・ヴェッキオ橋) 午後: カルミネ氏が手がけるヴィラへ【ポンタシエーベ4泊】
- ③チーズ工房見学、カルミネ氏による料理レッスン
- ④カルミネ氏による料理レッスン、ワイナリー見学
- ⑤ワイン農協の店見学、田園風景の中をウォーキング
- ⑥陸路、フィレンツェへ【フィレンツェ泊】
- ⑦午前: ヨーロッパ内1都市を経由し帰国の途へ
- ⑧午前: 成田着



定員:20名 最少催行:10名
添乗員:同行します

- ◇アウシュビッツ・ビルケナウ収容所をガイドのご案内でしっかり見学
- ◇実話を元に製作された映画「ユダヤ人を救った動物園」の舞台を訪ねます
- ◇隣国のウクライナから避難した方または支援団体のお話を聞きます

【旅程】

- ①羽田または成田発 ✈
- ②経由地 ✈ ポーランドのワルシャワ着、ワルシャワ見学(旧市街、ワルシャワ蜂起記念碑)【ワルシャワ泊】
- ③ワルシャワ市内見学(ワルシャワ蜂起博物館、ユダヤ人を救った動物園)、隣国のウクライナから避難した方または支援団体のお話【ワルシャワ泊】
- ④列車でクラクフへ。クラクフ市内見学【クラクフ泊】
- ⑤終日: アウシュビッツ・ビルケナウ強制収容所見学【クラクフ泊】
- ⑥列車で再びワルシャワへ。午後自由行動【ワルシャワ泊】
- ⑦ワルシャワ発 ✈ 経由地 ✈ 【機中泊】
- ⑧羽田または成田着

憲法を活かす国 ～PURA VIDA～
 コスタリカの自然と触れ合い民主主義を学ぶ旅 9日間



①8月17日(木)～8月25日(金) 655,000円
 ②11月16日(木)～11月24日(金) 645,000円
 ※燃油等別途 【最少催行10名・定員20名】

◇リニューアルされた国会や選挙最高裁判所を見学し、民主主義の在り方について考えます。
 ◇国連平和大学や学校を訪問、どのような教育・取り組みを行っているか学びます。
 ◇コーヒー農園や希少な動植物の観察ツアーもお楽しみ下さい。



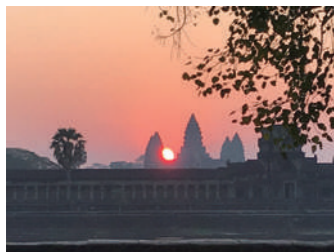
2024年1月 予定!
 伊藤千尋さんと行くコスタリカ

【旅程】

- ① 成田または羽田発(午前) AAA経由地【サンホセ6泊】
- ② 国会、選挙裁判所訪問、現地の方と交流
- ③ 国連平和大学訪問見学、保育園または小学校訪問
- ④ サンホセ市内見学(国立劇場・中央市場・国立博物館)
- ⑤ コーヒー農園・サラピキで希少な動植物を観察
- ⑥ タコレスのボートツアーで多種多様な鳥や動植物を観察
- ⑦ サンホセ発、経由地へ【機中泊】
- ⑧ 経由地発【機中泊】
- ⑨ 成田または羽田帰着

2名から出発可能!

カンボジアツアー6日間



ご希望の日程をお知らせください
 235,000円～295,000円 ※燃油等別途

定員: 2名から可能
 添乗員: 同行しません。現地ガイドが案内します

- ◇2名からいつでも出発可能!
- ◇アンコールワット、アンコールトムはもちろん、郊外のバンテアイスレイ・コーケーにも足をのぼします
- ◇自由行動の時間が1日以上あるのでアレンジをしたい方にもお勧めです♪

【旅程】

- ①成田発(午前) ✈️ サイゴン経由でシェムリアップへ【シェムリアップ4泊】
- ②アンコールトム、タプロム、IKTTクメール伝統織物研究所見学、アンコールワットで夕景鑑賞、アプサラダンスショーをしながらディナー
- ③バンテアイスレイ、コーケー見学
- ④自由行動
- ⑤出発まで自由行動、夕方空港着、サイゴン経由で成田へ
- ⑥成田着(午前)

米軍基地を撤去した国
 フィリピン平和と交流の旅

2023年8月24日(木)～8月27日(日) 229,000円
 ※燃油等別途



定員: 20名 最少催行: 10名
 添乗員: 同行します

◇太平洋戦争時には日本軍によって奇襲され、ベトナム戦争時には米国外では最大の米軍基地であった旧クラーク空軍基地を訪れます。
 ◇リサイクル商品作りで女性の自立支援をしているNGOキルス財団を訪問します。(キルス:ゴミを分別し、削減し、再利用する)
 ◇フィリピンの社会や国民性や教育などの特色を、現地ガイドさんに解説いただきます。

【旅程】

- ①成田発(午前) ✈️ マニラ着、午後: マニラ市内観光(ルサル公園、サンチャゴ要塞、世界遺産サンオーガスチン教会)【マニラ3泊】
- ②午前: 旧クラーク空軍基地・歴史探訪ツアー(神風特攻隊の飛行場跡、慰霊碑、バンバン戦争博物館、弾薬倉庫群跡) 午後: 第13軍司令官オフィス跡、現在のクラーク特別経済区
- ③午前: キルス財団訪問(フェアトレードを学ぶ) 午後: 近代化が目覚ましいグローバルシティ&マカティエ地区での視察
- ④マニラ発(午前) ✈️ 羽田帰国



革命のパリ・美術館をめぐる
 マルクス・エンゲルスの足跡をたどる旅

旅の企画提案者: 大村次郎(弊社リポーター)

2020年に計画していたパリ訪問も、やっと再開となりそうです。念願のパリ訪問です。小学生の時に見た宝塚歌劇「ベルサイユのばら」、高校生の時に読んだパリ・コミュン関連の本(大仏次郎「パリ燃ゆ」など)。一度は訪ねてみたいと思ったものです。パステュー広場、コンコルド広場、ナポレオンの墓など見どころはいっぱいです。19世紀の小説家ディケンズの『二都物語』(パリとロンドンを舞台に、主人公たちがフランス革命の渦にまきこまれていくドラマ)やビクトル・ユーゴーの『レ・ミゼラブル』(1830年の7月革命などを描く)なども読み感動しましたが、ぜひドラマの舞台となった場所で、作品を思い返してみたいと思います。

19世に活躍したマルクス、エンゲルスは、パリを拠点に活動した時期があり、二人が親交を始めたのが、1844年の夏のパリでした。二人がはじめて懇談し、意気投合した「カフェ・ラ・レジェン」跡や、住居跡、インターナショナルのパリ事務所跡などを訪ねます。

また、マルクスの2人の娘はフランス人と結婚し、パリ近郊に住みました。長女はアルジャントゥーユに、次女はドラヴェールに居を構えていました。二人のお墓は、パリ・コミュンの最後の激戦地と知られるペル・ラシェーズ墓地にあります。

晩年のマルクスは、病氣療養のために各地の保養地をまわります。そのなかで、1882年にアルジャントゥーユの娘宅を二度(1882年6-8月、9月29日-10月3日)訪れ、滞在しています。興味深いのは、その家の近所に印象派の画家クロード・モネが1871年から78年にアトリエとして利用した家があったことです。モネはこの間に約170点の作品を残していますが、その約半数がセーヌ河畔の風景でした。モネが作品を書いた地点を散策しながら、マルクスがみた風景をイメージしてみたいと思います。モネの作品が展示されているオルセー美術館にも行ってみたいです。

添乗員・小久保千代子と行く!!

“インパール作戦”戦跡と
 世界遺産を訪ねるインドの旅

2023年8月22日(火)～8月29日(火) 495,000円
 ※燃油等別途

定員: 20名 最少催行: 10名
 添乗員: 同行します

- ◆アジア太平洋戦争で最も無謀と言われた“インパール作戦”イギリス軍の拠点であったインパールやコヒマの闘いの現場を見学
- ◆世界遺産タージ・マハールやアグラ城を見学
- ◆インド料理を楽しみ、市民の生活や文化にも触れます。

【旅程】

- ①成田発 ✈️ デリー着【デリー泊】
- ②午前: デリー ✈️ インパール。インパール見学(激戦地レッドヒル、インド平和記念碑、平和資料館など)【インパール泊】
- ③ゴディンドジ寺院、コヒマへ。コヒマ見学(英国第二師団M3戦車、カトリック教会)【コヒマ泊】
- ④コヒマ見学(コヒマ戦争記念碑など)、コヒマ村にて村人と交流【コヒマ泊】
- ⑤コヒマ、ディプール ✈️ コルカタ ✈️ デリー【デリー泊】
- ⑥デリー見学(インド門、世界遺産のクトゥブ塔、フマユーン廟)アグラへ【アグラ泊】
- ⑦アグラ見学(世界遺産タージ・マハール、アグラ城)、再びデリーへ。夜中デリー発 ✈️ 帰国の途へ【機中泊】
- ⑧成田着



パリには美術館、記念館が豊富にあるので、みなさんも一度は訪れてみたいと思っただころはないでしょうか。ルーブル美術館は最も知られていると思いますが、オランジェリー美術館、ピカソ美術館、ロダン美術館、国立近代美術館、ドラクロワ美術館などまわってみたいですね。フランス革命の息吹にも触れることができるかもしれません。エッフェル塔や凱旋門、シャンゼリゼ通りなど、定番の市内観光もじっくりできると思います。食事やデザートも楽しみたいですね。

今後も、マルクス、エンゲルスのゆかりのスイス、オランダ、ドイツ、イギリスを訪問したいと思っています。マルクス、エンゲルスが訪れた地の大半をカバーできると思います。彼らが見た風景をおもい描きながら、時代をどう乗り越えようとしたのか、大きな視点で考えられたらと思います。

2023年8月7日(月)～8月14日(月) 後日発表
 ※燃油等別途

【旅程】

- ①羽田発 ✈️ パリ着【パリ6泊】
- ②フランス革命関連地見学(パステュー広場・ナポレオンの墓・コンコルド広場・ベルサイユ宮殿など)
- ③美術館めぐり(オルセー美術館など)
- ④マルクス・エンゲルスの足跡をたどる
- ⑤パリ・コミュン関連地見学、セーヌ川クルーズ
- ⑥下水道博物館・パリ解放博物館など見学
- ⑦出発まで自由行動、空路帰国の途へ【機中泊】
- ⑧羽田着



インドと聞いて思い浮かぶのは?

仏教発祥の地、数字のゼロを発見した、IT大国、ヨガ、カレー、貧困、治安、カースト、等々最近では中国を抜いて人口世界一位が話題になりました。国土は欧州とほぼ同じ、29の州からなり、一番人口の多い州で2億人、州の公用語は18もあります。

そんな国の夫と結婚して20年、今も摩訶不思議状態です。夫はインド料理屋をはじめ18年、インド人従業員は20人に囲まれて生活しているうちに、インド人の懐の深さを感じ、もっともっとインドをしりたい。そんな心が芽生えた昨年、とうとう夫の故郷の村に行ってきました。車で5時間の道中、対向車線にノロノロ運転の巨大なトラックが見えたら、その前には大きな真っ黒い牛が堂々とトラックを従えて歩いているではありませんか。トラックも牛も慌てるそぶりもなく、その後ろには何台ものトラックが並びクラクションも鳴らさず通り過ぎて行きました。山中の何もない幹線道路での一瞬の出来事で、写真に収められなかったのは残念でしたが、こんな素敵な瞬間を目撃できたて、感動しました。

山や水、自然にも神様が宿り、崇める奉る心、既に仏教の中に溶け込むヒンズー教の神様が日本で祀られていて、顔は違えど日本とインドには共通点も多く、将来にわたり補え合える国です。

モディ首相は、クリーンインディアをスローガンにあげ、公衆衛生、貧困、水、エネルギー問題解決に向けて動き出しています。そんなインドにさあ、行ってみませんか。

———小久保 千代子(添乗員)

01 フライカンウォンで行く！
南北分断の歴史を訪ねる旅 4日間

①2023年7月9日(日)～7月12日(水) 185,000円
②2023年8月20日(日)～8月23日(水) 185,000円



※燃油等別途



- ◆成田から直行便で韓国・江原道へ！
- ◆非武装地帯に整備された生態平和公園を歩いて半島情勢の変化を実感
- ◆ソウルでは青瓦台、戦争と女性の人権博物館を見学
- ◆参加者全員にオリジナルエコバックのプレゼントも！

- 【旅程】
- ①成田発 韓国・襄陽へ、高城統一展望台、DMZ博物館など見学【麟蹄(インジェ)泊】
 - ②午前：麟蹄観光：CLASSIC CAR MUSEUM見学春川を經由して鉄原へ
午後：鉄原観光(朝鮮労働党の党舎跡、勝里展望台、白馬高地戦跡など)【鉄原泊】
 - ③DMZ(非武装地帯)内を含む「生態平和公園」を散策 陸路、ソウルへ
青瓦台<旧大統領官邸>戦争と女性の人権博物館見学【ソウル泊】
 - ④出発まで自由行動 午後：ソウル発、成田空港着

03 2023歴教協アジアの旅
朝鮮戦争休戦から70年
韓国の“今”を見る 4日間

2023年7月25日(火)～7月28日(金) 180,000円
※燃油等別途



- 【旅程】
- ①成田発 韓国・ソウルへ 陸路、鉄原へ
平和展望台、労働党舎、白馬高地を見学
 - ②DMZ平和観光(第2トンネル、平和展望台、月井里駅、被弾列車)
再びソウル市内へ 夕方：光化門、景福宮見学
 - ③午前：植民地歴史博物館(見学と講演会)午後：南山フィールド、
戦争と女性の人権博物館見学
 - ④午前：出発まで自由行動午後：空路、帰国の途へ 成田空港着

02 民主化運動の歴史を訪ねる
光州・羅州・木浦の旅 5日間

2023年5月16日(火)～5月20日(土) 245,000円
※燃油等別途



- ◆光州民主化運動記念式典に出席、運動の現場を訪ねます
- ◆東学農民革命ゆかりの地、羅州を訪ね
- ◆金大中元大統領の故郷、木浦でノーベル平和賞記念館や日本植民地時代の街並みを見学

- 【旅程】
- ①羽田発 ソウル KTXで光州へ【光州2泊】
 - ②光州事件関連地見学(望月洞墓地、旧全南道庁と噴水広場、錦南路、
全南大学、5.18自由公園)◎犠牲者ご遺族や運動体験者の方と交流
 - ③国立5.18民主墓地で行われる記念式典に参加
午後：羅州へ(東学農民運動ゆかりの地、羅州宮三面抗日農民運動記念
碑見学)【羅州泊】
 - ④陸路、木浦へ(木浦近代歴史館、金大中の受賞を記念して建てられた
ノーベル平和賞記念館、木浦共生園見学)【木浦泊】
 - ⑤朝、KTXでソウルへ 着後、空港へ 午後：ソウル発、羽田空港着

第18回東学の旅
予告編

東学農民軍の歴史を訪ねる旅



Aコース: 2023年10月28日(土)～11月2日(木) 4月末発表
Bコース: 2023年10月28日(土)～10月31日(火) 4月末発表

- ◆10月30日、羅州でおこなわれる慰霊碑の除幕式に参加
- ◆除幕式にあわせて短縮版の日程を設定！(Bコース)
- ◆韓国・圓光大学名誉教授朴孟洙先生のご案内で東学農民革命ゆかりの地を見学



3年4か月ぶりにグアムツアーを再開できることを、本当に嬉しく思います。

現地の人々と一緒に企画し、2018年から開催している手作りの旅「グアムの先住民チャモロの人々の文化と歴史、そして軍事化の問題を、住民から直接学び、交流する、他にはない唯一無二のツアーだ」と自負しています。

見どころはたくさんありますが、そのひとつが、グアム島の北端に位置する自然保護区への訪問。チャモロ語でリテクザン、英語ではリテディアンと呼ばれるこの地域の森には、チヨウヤコウモリなどの絶滅危惧種が生息しています。森を出ると広がる白いビーチは、絶滅危惧種アオウミガメの産卵地です。

リテクザンは、古代住居の石柱とされるフッテストーンや井戸など、チャモロの遺跡が残っている場所でもあります。祖先の暮らしの跡が残る場所は、チャモロの人々にとって「聖地」です。リテクザンの森に立ち入る前に、住民は祖先へ祈りを捧げます。

実はリテクザンは、米軍の実弾射撃訓練場の建設地に隣接しているため、こうした貴重な自然・文化遺産が破壊の危機にさらされています。射撃場が完成し訓練が始まれば、リテクザンとその周辺への民間人の立ち入りは著しく制限されます。



先住民と出会い学ぶ まだ知らないグアムへ

ひとつの場所に、先住民の歴史、文化、自然、そして基地問題が凝縮するリテクザン。実弾射撃訓練場に反対し、建設が進む中でも粘り強く活動を続ける住民団体「Putehi Litekzan: Save Ritodjan」(リテクザンを守れ)のメンバーに案内してもらいます。

この実弾射撃訓練場を含め、現在グアムで進められている大規模な米軍基地の拡張に、私たちも加担していることを心配でしょうか。沖縄からの海兵隊の移転に伴った軍拡に、日本政府は「沖縄の基地負担軽減」という名目で資金提供を行っています。

グアムを抱える基地問題は、日本がかつてこの島を攻撃し占領した戦争と地続きです。島の各地に残る戦争の跡が伝える、私たち自身の歴史を直視し、共に考える旅でもあります。

また、約4000年前に広大な太平洋をカヌーで渡って移住してきたといわれるチャモロ人の豊かな文化も体験します。案内してくれるのは、スペイン、アメリカ、日本による植民地支配によって失われたチャモロ文化を取り戻そうと活動する地元の人々。日本ではあまりなじみのないチャモロ料理も楽しみのひとつです。

リゾートホテルにショッピングモールという商業観光的なグアムのイメージが一新されることでしょう。グアムとの出会い、または「出会い直し」を求める皆さん、ぜひ一緒に楽しみましょう。

中村みずき(通訳、ライター)

グアムの歴史・基地・文化をめぐる
先住民との交流の旅 5日間

2023年6月28日(水)～7月2日(日) 255,000円
※燃油等別途

- 【旅程】
- ①成田(午前) ✈️ グアム島内見学【グアム泊】
 - ②歴史を学ぶ(スペイン・アメリカ・日本植民地統治の歴史を学ぶ)【グアム泊】
 - ③基地問題を学ぶ(実弾射撃訓練場の建設地に隣接するリテクザン、マネンガン強制収容所跡)【グアム泊】
 - ④自然と文化を体験する(カルチャーセンター、地元の方と交流)【グアム泊】
 - ⑤午前：自由行動(オプションツアーあり)、グアム ✈️ 成田(午後)

定員: 25名 最少催行: 12名
添乗員: 同行します

- ◇地元の方のご案内で、観光ブックでは知れない歴史を学びます。
- ◇米軍基地の拡張の実態を学び、手つかずの自然が残るリテクザンの森を散策します。
- ◇先住民チャモロ人の文化や料理を楽しみ、地元の方と交流します。



スイス 春のフラワーハイキング



- ◇スイスに来たらまずここ！アイガー（ユングフラウ三山）とマッターホルンの眺望コース
- ◇アルプ（牧草地）の花が満開の季節キンポウゲやトロールブルーメの咲き乱れる季節
- ◇ミューレン&ツェルマットに各3連泊！ ゆったりとした日程で無理なくハイキングを堪能
- ◇花の楽園ロープホルン・ヒュッテへのハイキング 三山の眺望とヒュッテの食事を堪能

Aコース 2023年6月25日(日)～7月1日(土)7日間
・・・589,000円 燃油別途

Bコース 2023年6月25日(日)～7月4日(火)10日間
・・・699,000円 燃油別途

- ①5日目までA・Bコース共通】成田発、直行便でチューリッヒへ【チューリッヒ着】
- ②ユングフラウ地方、アイガーの町グリンデルワルトへ【グリンデルワルト泊】
- ③登山列車でベルナーオーバーラントの中心地、クライネシャイデックハイキング、3名峰の村ミューレンへ【ミューレン3泊】
- ④ロープホルンヒュッテと湖へのハイキング
- ⑤ケーブルカーで展望台アルメントフォーベルに上り、花の谷、ノース・フェイストレイルを下りミューレンへと戻るフラワーハイキング
- ⑥【Aコース】列車でチューリッヒ空港へ、チューリッヒ発帰国の途へ【機中泊】
- ⑦【Aコース】成田空港着
- ⑧【以下Bコース】マッターホルンの麓ツェルマットへ【ツェルマット3泊】
- ⑦登山列車で展望台ゴルナーグラートへ・逆さまッターホルンの湖リッフェルゼーへのハイキング
- ⑧登山列車で展望台シュワルツゼーからフリーへ下るハイキング
- ⑨列車でチューリッヒ空港へ、チューリッヒ発帰国の途へ【機中泊】
- ⑩【Bコース】成田空港着



ハワイを代表するネイチャーガイド・長谷川久美子さんと過ごす

ハワイの自然と文化を体感する旅

①2023年10月12日(木)～10月18日(水)
②2023年10月26日(木)～11月1日(水) 438,000円
※食事代、燃油等別途

定員：6名 最少催行：5名
添乗員：同行しません 現地ガイドの長谷川さんが同行いたします

◇ハワイを代表するネイチャーガイドの長谷川久美子さんと共に5日間を過ごし、「マーマ・アーイナ」の精神を養う旅です。

【旅程】

- ①成田発 ✈️ ヒロ空港着 カメハメハ大王像スーパーやダウンタウン・ヒロ・ファーマーズ・マーケットで買い出し 【ヒロ郊外ゲストハウス5泊】
- ②カイルア・コナ（モクアイカウアチャーチ、ハイアウ、フリヘエ・パレス※外観のみ）コナ・コーヒー・リビング・ヒストリー・ファーム、プウホヌア・オ・ホーナウナウ国立歴史公園
- ③ワイコロアかワイメアでボランティア活動、プウコホラー・ハイアウ国立歴史遺産やペトログリフなど
- ④ボルケーノ・ファーマーズ・マーケット、ハワイ火山国立公園到着、ボルケーノハウス（朝食）、キラウエア・イキ展望台、ナーフク溶岩トンネル、キラウエア・イキ火口ハイキング、チェーン・オブ・クレーターズ・ロード
- ⑤ヒロでボランティア活動、イミロア・アストロノミー・センターの庭やアカカ・フォールズ州立公園など
- ⑥ヒロ空港 ✈️ ⑦成田着

パンデミックの間に色々と考えました。解決策の一部でなければ、私も問題の一部であること、残りの人生で、生まれてきたときよりも良い環境になるように何かしたいなど・・・。

そんなことを考えながら、ハワイの文化や自然についてより深く学び、頻りに森林再生のボランティア活動などに参加し、そして自分自身でも水鳥の生息地の環境再生のプロジェクトを始めるようになり、もしコロナ明けに観光業に戻るなら、パンデミック前よりもより良い形で行いたいと思うようになりました。

そして出来上がったひとつめの新しい企画が、このマーマ・アーイナの精神を養う旅です。

ハワイの自然の魅力である在来種や固有種に出会い、より深くハワイの自然と触れ合うだけでなく、ハワイに来たときよりも、かけがえのないハワイの自然環境を少しでも良い状態にして帰国する、ハワイに恩返しをして帰る、そんな旅です。

The most rewarding trip is one that gives back.

最も満足感が得られ、褒美となる、有意義な旅は、恩返しをする旅。

観光業ではリジェネラティブ・ツーリズムが求められています。それは旅行者が来た時よりも、その場所を良い状態にして帰る、そしてより深い貴重な体験をする、そんな旅。マーマとはハワイ語で「世話をする、守る、大切にすること」と、アーイナとは「資源や生命を維持するために必要なものを与えてくれる土地のこと」。マーマ・アーイナの精神を養う旅へのお誘いです。

山から海まで、ハワイに生きる美しい自然や文化に「マーマ = 思いやりの心」を持って接すること。レスポンシブル・ツーリズムは、そんな思いやりの心を旅の中で実践していく、新しい観光のカタチです。

——長谷川 久美子



～5都市をめぐる、キューバの魅力を感じ～
キューバ歴史と現在を知る旅 11日間

①9月11日(月)～9月21日(木) 855,000円
②11月21日(火)～12月1日(金) 後日発表
※燃油等別途



【旅程】

- ①成田発～複数回乗継②ハバナ着【ハバナ3泊】③ハバナ市内見学（モロ要塞、革命広場、クラシックカー乗車体験）④学校訪問（キューバの教育を学ぶ）、旧市街見学⑤シェンフェゴス（世界遺産）、トリニダー【トリニダー泊】⑥市立歴史博物館、マナカ・イスナガ、奴隷監視塔、ゲバラの故郷サンタ・クララ【サンタ・クララ泊】⑦サンタクララ見学（ゲバラ霊廟、ゲバラの像、装甲列車襲撃現場）ハバナへ【ハバナ2泊】⑧高齢者施設訪問・交流、ヘミングウェイのコヒマルへ⑨ハバナ発～⑩経由地【機中泊】⑪成田

- ◇革命博物館やゲバラの足跡を訪ね、キューバ革命の歴史を学びます
- ◇コロナ禍、米経済制裁下のキューバを訪れ、市民の生活にどう影響を与えているか学びます
- ◇高齢者センターや学校を訪問し、キューバの福祉や教育を学び、現地の方と交流します。

太陽と海と革命の国
キューバで笑いましょ

キューバはカリブ海に浮かぶ島国。「一言でいうと、「太陽と海、そして革命の国」です。「キューバって危険じゃないの?」いえいえ、治安はかなり良い方で、人は親切。街にあふれる音楽、陽気なおしゃべりや笑い声、瞳キラキラの子供達に囲まれば、あっとい間に好きになっちゃう魅力の国です。一年を通して温暖な気候、カリビアンブルーのビーチリゾートを築きあげ、欧米の観光客には人気があります。そんな、現在の、キューバは、今から70年前にキューバ人の若き弁護士フィデル・カストロが率いたキューバ革命によって生まれました。

●まず歴史をさぐり
この島には先住民が住んでいましたが、約500年前にコロンブスが航海の途中でたどりつき、すぐにスペインによる植民地政策が始まりました。11万人いた先住民は強制労働、病気などにより1世紀たらずでほぼ全滅。そしてスペインによる搾取とヨーロッパ人、アフリカから連れてこられた奴隷の国となります。約400年の時が流れた19世紀末、独立運動が盛り上がりキューバが優勢になりかけた頃、アメリカは米西戦争を起こし、キューバをアメリカの支配下におさめました。キューバ人はさらにしいたげられ、政治は腐敗。ハバナ大学で法律を学び政治家をめざしていたフィデルは自由と平等を求め

キューバ革命を起こします。最初の蜂起から6年たらず1959年に革命軍が勝利、ついにキューバ人による独立国家が誕生しました。

こうした背景から、白人と黒人、その混血がキューバ人であり、街には今もスペイン風の古い建築物が建ちならび、1950年代のアメリカのフラシックカーが現役で走りまわるといふ不思議な光景が広がっているのです。

●キューバの社会主義とは
キューバは今や世界でも数少ない社会主義国ですが、革命に勝利したカストロ政権は、全ての国民が平等で、教育と医療を受けられる社会をめざし、その実現のために社会主義を選択しました。一人の痛みを感じ、持っているものは皆で分け合う（協力・共存）という国際主義（インターナショナル）の思想は小学生のころから学び、生活にふかふか浸透しています。そして住居を保証し、すべての医療を無料に、大学までの教育を無償にしました。街にホームレスや物乞いをする子供の姿はありません。教育では数学に重きをおき、スポーツと音楽、ダンス、芸術にも力を注いできました。若い才能を発掘して育てる仕組みも充実していますが、本人と親の意思がかならず尊重されます。昨今のコロナ禍では、キューバ独自のワクチンを開発し、一般の大人用の2種類のワクチンに加え、乳幼児用、子供用、妊婦用、すでにコロナに感染した人用など特徴的なワクチンを駆使して健闘してきました。

●キューバのちょっと苦しい現状。
革命勝利後、アメリカはキューバを敵対視し、「経済・金融・貿易の完全封鎖」という歴史に例をみないきびしい制裁を続け



（ハバナ在住・コーディネーター）
倉重 ゆき

ています。2022年国連総会は、米国の対キューバ制裁の解除もとめる決議を、日本を含む185カ国の賛成多数で採択、反対は米国とイスラエルの2カ国のみ。このような決議はすでに30年連続しており、キューバは「国民が窒息死してしまう」と非難しましたが、一向に解除される気配はありません。トランプ前政権はさらにしめつけを強化したため、キューバの経済状況は急速に悪化。大変な食糧、物資不足ですが、政府は鶏肉や洗剤の配給を増やすなどなんとか乗り切ろうと奮闘中です。ガソリン不足はすべてに影響をおよぼし、30個70円ほどで買えるはずの卵が千円で売られるなどインフレもひどいものです。そんな中でも住む家が保証されているのは心強いことで、水道光熱費はいまも非常に安く抑えられています。苦境になるほど近所同士の付き合いは密に、助け合いは頻りに。「困難にあえばまず笑いましょ」という独自のメンタルで、ユーモアたっぷり、たくましく喜ぶキューバ人に、今ぜひ会いに行きたいと思いませんか。